

- ▶ 本県の市町では、森林環境譲与税を活用して手入れ不足人工林の整備等に取り組んでいる。
- ▶ しかしながら、本県の市町は、金沢市を除く18市町で林業担当職員が0人という状態であり、市町職員のマンパワー不足や技術的な知見の不足が懸念されている。
- ▶ そこで、本税を活用し、**地域林政アドバイザー（以下、アドバイザー）の設置を公益財団法人石川県林業公社に委託**し、アドバイザーによる個別指導を行うとともに、市町職員向けの研修の実施や地域協議会の開催による広域調整、高精度森林情報の取得による意向調査等の支援を行った。
- ▶ 令和3年度は以下の取組を実施。
  - **6名のアドバイザーを設置し、市町への個別指導**を行うことで、12市町で経営管理集積計画が作成されたほか、14市町で約230haの森林整備が実施された。
  - 県内で**市町担当者向け研修を6回実施**したことで、森林経営管理制度や森林・林業に関する基本的な知識の向上が図られた。
  - **高精度森林情報の取得**により、森林の現況や詳細な微地形の把握、森林資源等の情報解析を行い、それらの情報を森林クラウドに掲載することで、市町が効率的に意向調査等を実施することが可能となった。
- ▶ 令和4年度においては、引き続き、アドバイザーにより手入れ不足人工林の整備が進むようにきめ細やかな市町指導に取り組むこととしている。

## □ 事業内容

### 手入れ不足人工林整備支援事業（39,641千円）

- アドバイザー設置委託事業
  - 【事業費】19,000千円（全額譲与税）
  - 【実績】アドバイザー6名の設置（常勤3名＋非常勤3名）
- 市町職員向け研修、地域協議会の実施等
  - 【事業費】1,186千円（全額譲与税）
  - 【実績】市町職員向け研修：6回開催  
地域協議会の開催：農林総合事務所単位で4回開催
- 高精度森林情報の取得・活用による意向調査等の支援
  - 【事業費】99,803千円（うち譲与税約19,455千円）
  - 【実績】南加賀地域565km<sup>2</sup>の森林解析等を実施



(地域協議会による広域調整)

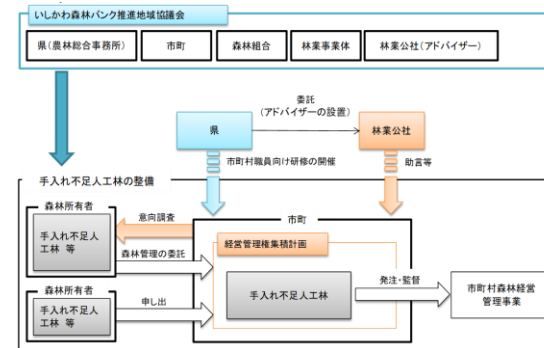


(市町職員向け現地研修の開催)



(航空レーザー測量成果の活用)

## □ 事業スキーム



## □ 工夫・留意した点

アドバイザーの専門的な知識や技術を活かした市町担当者への支援に加え、高精度森林情報の取得・活用など、最新の知見も組み合わせることで、**意向調査から森林整備まできめ細やかに市町担当者を支援することが可能となった**

## ◇ 基礎データ

|               |            |
|---------------|------------|
| ①令和3年度譲与額     | 63,768千円   |
| ②私有林人工林面積（※1） | 71,992ha   |
| ③人口（※2）       | 1,132,526人 |
| ④林業就業者数（※3）   | 758人       |

※1：「2020農林業センサスより」より、

※2：「R2年国勢調査」より、

※3：「H27年国勢調査」より

- ▶ 本県の市町では、森林環境譲与税を活用して手入れ不足人工林の整備等に取り組んでいる。
- ▶ 森林整備が一層進むと期待される中、現場からは整備量の増加に伴う担い手不足を訴える声が寄せられており、人手不足が深刻な状況になる前に、林業就業者確保対策の強化を進める必要がある。
- ▶ そこで、本税を活用し積極的な情報発信による就業希望者の掘り起こしと、林業技術指導等による定着促進に取り組んだ。
- ▶ 令和3年度は以下の取組を実施。
  - ・ 移住就業相談会や森の仕事ガイダンスにおける移住相談等の実施、高校生等を対象とした林業体験実習、就業希望者に向けた長期就業体験の実施
  - ・ 安全装備品の購入経費支援や新規就業者に向けた技術研修等の実施
  - ・ スマート林業の実践に必要なドローンやICTハーベスタの操縦訓練等の実施
- ▶ きめ細やかな対応により新規就業者の確保が進んだほか、ドローンを活用した森林資源量調査等を実践可能な林業事業体を養成できた。
- ▶ 令和4年度は、引き続き新規就業者の掘り起こしや定着率向上、スマート林業の推進による林業作業の効率化、軽労化を進める。

## □ 事業内容

### 1 いしかわ森の担い手づくり推進事業

- ・ 就業希望者の掘り起こし、新規就業者等の定着率向上対策。
  - 【事業費】19,000千円（全額譲与税）
  - 【実績】オンライン等相談会18回参加（相談者42名）  
林業出前講座（高校5校）、長期就業体験（14人）  
安全装備品助成（8人）、長期就業体験（2人）等

### 2 スマート林業人材育成事業

- ・ スマート林業の実践に必要なドローン・ICTハーベスタの操作技術やドローンオルソ画像を使った森林資源量調査等の技術習得。
  - 【事業費】3,000千円（全額譲与税）
  - 【実績】ドローン操縦技術者（16人）、  
ICTハーベスタ操縦技術者（3人）養成



(就業相談会)



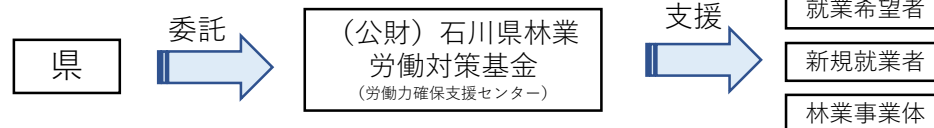
(ドローン訓練)



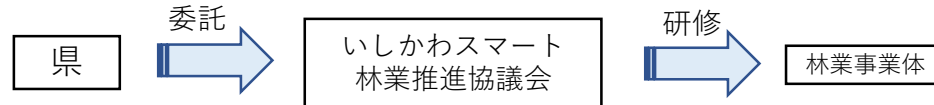
(ICTハーベスタ訓練)

## □ 事業スキーム

### 1 いしかわ森の担い手づくり推進事業



### 2 スマート林業人材育成事業



## □ 工夫・留意した点

県外からの就業希望者へのサポートを強化するため、移住に関する情報提供も得られるよう「いしかわ就職・定住総合サポートセンター」と連携した。また、建機メーカーであるコマツと連携し、スマート林業の人材育成を実施した。

### ◇ 基礎データ

|               |            |
|---------------|------------|
| ①令和3年度譲与額     | 63,768千円   |
| ②私有林人工林面積(※1) | 71,992ha   |
| ③人口(※2)       | 1,132,526人 |
| ④林業就業者数(※3)   | 758人       |

※1：「2020農林業センサスより」より、  
 ※2：「R2年国勢調査」より、  
 ※3：「H27年国勢調査」より